

### 3 R 関連施策に係る実施状況等について

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
前橋市	1	第2次G活チャレンジ「ステキにごみダイエット」の開始	令和2年度までに1人1日あたりの家庭ごみ（資源ごみを除く）量を35g減量するために、「ごみダイエット」を頭文字とした7つの取り組みを中心に減量のための啓発を行う。	H30年度 1g減 (H29 565g → H30 564g)	平成30年度と同様	R1年度 8g増 (H30 564g → R1 572g)	令和元年度と同様
前橋市	2	剪定枝粉碎機の貸出し	可燃ごみとして排出される枝木類の減量化を図るため、剪定枝粉碎機の貸出を開始した。	平成30年度 29件	平成30年度と同様	令和元年度 21件	令和元年度と同様
前橋市	3	翻訳した家庭用資源・ごみ分別ガイドブックの配布	英語・中国語・ポルトガル語・ハングル・ベトナム語の5か国語に翻訳したガイドブックを適宜配布した。	-	平成30年度と同様	-	令和元年度と同様
前橋市	4	分別アプリの配信	収集日や分別方法が確認できるアプリの配信。日本語のほか、5か国語対応（英語・中国語・ポルトガル語・ハングル・ベトナム語）。	平成30年度 11,958DL	平成30年度と同様	令和元年度 16,862DL	令和元年度と同様
前橋市	5	地域版リユース宝市の開催	各地域でリユース宝市（不用品交換会）を開催し、地域に根付くようなリユースの活動の推進を図る。	平成30年度 4回	平成30年度と同様	令和元年度 3回	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度	成果	令和元年度	成果	令和2年度以降の予定
前橋市	6	有価物集団回収増加促進奨励金の交付	従来の回収量に応じた奨励金に加えて、下記を交付。 【増加促進奨励金】 ①年間の平均回収量が5,000kg以上ある場合4,000円、7,000kg以上ある場合6,000円、9,000kg以上ある場合9,000円 ②年間の平均回収量が対前年度で、10%以上増加した場合4,000円、15%以上増加した場合6,000円、20%以上増加した場合9,000円 【リユース促進奨励金】 団体主体のリユース宝市を年間1回の開催した場合5,000円、2回以上実施した場合10,000円	平成30年度回収量 8,252,940 kg 回収量に応じた奨励金（1*あたり8円） 66,004,960 円 増加促進奨励金 436,000 円 リユース促進奨励金 15,000 円	平成30年度と同様	令和元年度回収量 7,749,390 kg 回収量に応じた奨励金（1*あたり9円） 69,744,510 円 増加促進奨励金 475,000 円 リユース促進奨励金 10,000 円	令和元年度と同様
前橋市	7	生ごみ処理機の購入費助成	可燃ごみとして排出される生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理機の購入に対し助成を行う。助成金額は購入費の1/2（限度額2万円）	平成30年度 47基	平成30年度と同様	令和元年度 47基	令和元年度と同様
前橋市	8	枝葉粉碎機の購入費助成	可燃ごみとして排出される枝木類の減量化を図るため、枝葉粉碎機の購入に対し助成を行う。助成金額は購入費の1/2（限度額1万円）	平成30年度 18基	平成30年度と同様	令和元年度 25基	令和元年度と同様
前橋市	9	リユース食器利用費補助金の交付	自治会等の団体が主催するイベントで、リユース食器を利用する場合、その費用の一部を補助することにより、ごみの発生抑制及びリユース意識の普及啓発を図る。対象経費の1/2（限度額5万円）	平成30年度 6事業	平成30年度と同様	令和元年度 8事業	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
前橋市	10	使用済小型家電 拠点回収	使用済小型家電に含まれる希少金属等のリサイクル及びごみ減量を図るため、市内23箇所に回収ボックスを設置して拠点回収を行ったほか、清掃工場への持ち込みごみからの分別を行った（イベント回収は実施せず）。	平成30年度 120,903kg	平成30年度と同様	令和元年度 151,487kg	令和2年度より、大型回収ボックスを撤去し、小型の家電のみに対象品目を変更。
前橋市	11	廃食用油拠点回収	家庭から排出される廃食用油について、市役所や支所、市民サービスセンター等17箇所に回収ボックスを設置し、拠点回収を行った。	平成30年度 9,496kg	平成30年度と同様	令和元年度 9,802kg	令和元年度と同様
前橋市	12	食べきり運動	食品ロス削減対策の一環として、市職員の啓発や小盛りメニューの導入や持ち帰りの対応、食べ残しを減らすための呼びかけなどに積極的に取り組んでいる店舗を「食べきり協力店」として登録。市広報や市ホームページで市民に周知を図った。	登録店舗数 30店舗 (平成30年度末時点)	平成30年度と同様	登録店舗数 44店舗 (令和元年度末時点)	令和元年度と同様
前橋市	13	使用済インク カートリッジ拠点回収	プリンターメーカー各社が合同で実施している「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に参加し、市有施設19箇所で使用済インクカートリッジの回収を開始した。	-	平成30年度と同様	-	令和元年度と同様
前橋市	14	宅配便を利用した使用済み小型家電の回収	-	H30年度 2,217.2kg	平成30年度と同様	令和元年度 4,624.0kg	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度	成果	令和元年度	成果	令和2年度以降の予定
前橋市	15	段ボールコンポスト用土壌改良材の無料配布	窓口にて段ボールコンポスト用の土壌改良材を無料で配布し、各家庭で生ごみの減量を促進してもらう。	H30年度配布数 68個	平成30年度と同様	令和元年度配布数 322個	令和元年度と同様
前橋市	16	出前講座の実施	自治会、老人会、小学生、生涯学習団体、環境美化推進員等を対象に、地区の集会所や教育施設に直接出向き、本市のごみ問題の現状や減量・資源化対策に関する講座を行った。	平成30年度 32回	平成30年度と同様	令和元年度 29回	令和元年度と同様
前橋市	17	3Rバスツアーの実施	市有バスを利用し、清掃工場及び最終処分場を見学するとともに、ごみ減量へのキーワード3Rについてのワンポイント紹介などを行った。	平成30年度 210人	平成30年度と同様	令和元年度 139人	新型コロナウイルスの影響で、当面の間中止する予定。
前橋市	18	30・10運動（宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動）に係る普及啓発	-	-	市役所内部に対して年末年始、年度末年度初めに食べ切り運動（食ベタイム15運動）を啓発	-	令和元年度と同様
前橋市	19	マイボトル運動の普及啓発	-	-	美化推進員説明会や出前講座での利用啓発	-	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度	成果	令和元年度	成果	令和2年度以降の予定
前橋市	20	使い捨てプラスチック等の使用抑制に係る普及啓発	-	-	美化推進員説明会や出前講座での利用啓発	-	令和元年度と同様
前橋市	21	フードバンク支援（フードドライブの実施等）	-	-	七夕まつりでのチラシ配布 美化推進員説明会や出前講座での利用啓発	-	令和元年度と同様 （令和2年度は新型コロナウイルスの影響で七夕まつり中止）
高崎市	22	有価物集団回収事業	有価物集団回収を実施し、ごみの減量化・リサイクルの推進を図った。 回収量に応じて実施団体に奨励金を支給した。（8円/kg）	H30年度全品目合計 約6,753 t	有価物集団回収を実施し、ごみの減量化・リサイクルの推進を図った。 回収量に応じて実施団体に奨励金を支給した。（8円/kg）	令和元年度全品目合計 約6,143t	令和元年度と同様
高崎市	23	使用済小型家電の回収	市内13ヵ所に回収ボックスを設置し拠点回収を実施した。 清掃センターでのピックアップ回収を実施した。 イベント回収の実施した。	H30年度回収実績 約345 t	市内14ヵ所に回収ボックスを設置し拠点回収を実施した。 清掃センターでのピックアップ回収を実施した。 イベント回収の実施した。	令和元年度回収実績 約290t	令和元年度と同様
高崎市	24	生ごみ処理機器購入費補助	生ごみの堆肥化等によるごみの減量化を図るため、生ごみ処理機器を購入した市民に対して購入額の1/2を補助。	H30年度実績 82基	生ごみの堆肥化等によるごみの減量化を図るため、生ごみ処理機器を購入した市民に対して購入額の1/2を補助。	令和元年度実績 66基	令和元年度と同様
高崎市	25	雑がみリサイクルモデルステーションの実施	雑がみの資源化を推進するため、各町内でモデルとなるごみステーションを設定し、雑がみの分別徹底とリサイクル推進を図った。	H30年度実績 89町内会	雑がみの資源化を推進するため、各町内でモデルとなるごみステーションを設定し、雑がみの分別徹底とリサイクル推進を図った。	令和元年度実績 94町内会	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
高崎市	26	イベント時の家具類リユース事業	粗大ごみとして収集した家具類のうち、まだ利用可能なものを年2回(各2日間)のイベント時に展示し、抽選で再利用希望者へ引き渡した。	H30年度実績 106点の引渡し	粗大ごみとして収集した家具類のうち、まだ利用可能なものを年2回(各2日間)のイベント時に展示し、抽選で再利用希望者へ引き渡した。	令和元年度実績 92点の引渡し	令和元年度と同様
高崎市	27	イベント時の古着・古布・古本の回収及び交換会	年2回(各2日間)のイベント時に、古着・古本・古布の交換会を実施した。	H30年度回収実績 (古着・古本合計) 4.3 t	年2回(各2日間)のイベント時に、古着・古本・古布の交換会を実施した。	令和元年度回収実績 (古着・古本合計) 4.75t	令和元年度と同様
高崎市	28	廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収	年2回のイベント時に廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収を実施した。	市民の適性排出の機会を設けることができた。	年2回のイベント時に廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収を実施した。	令和元年度回収実績 タイヤ等1,661本 バッテリー155個 消火器255個	令和元年度と同様
高崎市	29	ドギーバック (外食時の食べ残しの持ち帰り容器)又は食べ残しの持ち帰りの普及啓発	-	-	食品ロス標語を貼付したドギーバックを作成し、食品ロス0協力店に配置と活用を依頼	1,400個配布	検討中
高崎市	30	使い捨てプラスチック等の使用抑制に係る普及啓発	-	-	群馬県環境にやさしい買い物スタイル普及促進活動に参加	年3回、市内店舗で普及活動を行った	群馬県環境にやさしい買い物スタイル普及促進活動に参加
高崎市	31	ごみの組成調査	-	-	月1回実施	-	3ヶ月に1回実施予定

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
桐生市	32	ごみ集団回収奨励金	平成27年度からの累進型方式を見直し、より多くの団体が累進型の恩恵を得られるよう、4.5円から7円までの4段階方式に改正した。	5円：36団体 6円：29団体 7円：4団体	平成27年度からの累進型方式を見直し、より多くの団体が累進型の恩恵を得られるよう、1kgあたり4.5円から7円までの奨励金を交付した。	4.5円：51団体 5円：25団体 6円：31団体 7円：3団体	奨励金を4.5円から7円までの4段階方式から、1kgあたり6円に要綱改正し継続実施する。
桐生市	33	ごみ減量教室	ごみの減量やリサイクルに関する意識向上を図ることを目的に計3回実施。平成30年度は、雑がみの分別に特化し正しい分別方法の周知・啓発を図った。	実施回数：3回 参加者：81名	ごみの減量やリサイクルに関する意識向上を図ることを目的に1回実施。令和元年度は、雑がみの分別に特化し正しい分別方法の周知・啓発を図った。	実施回数：1回 参加者：36名	令和元年度と同様
桐生市	34	子供向け啓発冊子作成「ごみるくん家族の大冒険」の作成	市内小学4年生全員に配付。ごみ減教室や市内の各種イベント等において配布。清掃センターにおける処理施設の仕組み、本市のごみ排出量とリサイクル率等を掲載し、3R活動の推進を図った。	作成部数：1,200部 印刷製本費：233,280円	市内小学4年生全員に配付。ごみ減教室や市内の各種イベント等において配布。清掃センターにおける処理施設の仕組み、本市のごみ排出量とリサイクル率等を掲載し、3R活動の推進を図った。	作成部数：990部 印刷製本費：235,224円	市内小学4年生全員に配付していた「ごみるくん家族の大冒険」を「清掃センター見学のしおり」に変更し、施設紹介映像（DVD）を各小学校に配布で代用予定。
桐生市	35	買い物袋持参運動の推進	レジ袋の削減と買い物袋（マイバック）持参運動の推進を図るため、ヤオコー桐生相生店にて、計3回38名参加のもと店頭啓発を実施した。	実施回数：3回 参加者：38名	レジ袋の削減と買い物袋（マイバック）持参運動の推進を図るため、ヤオコー桐生相生店にて、計3回38名参加のもと店頭啓発を実施した。	実施回数：3回 参加者：38名	令和元年度と同様
桐生市	36	各種団体等が行う環境美化活動に対する支援	市内各所で実施される清掃活動等に必要な物資の支援を行い、環境保全の啓発に努めた。	支援件数：18件	市内各所で実施される清掃活動等に必要な物資の支援を行い、環境保全の啓発に努めた。	支援件数：23件	令和元年度と同様
桐生市	37	廃食用油回収の推進	平成30年度より、廃油回収事業者と契約締結し、市有施設22拠点での回収・売払い（3円/ℓ）を実施し、家庭から排出される廃食用油の資源化を推進。	回収量：4,807ℓ 売払額：14,420円	平成30年度より、廃油回収事業者と契約締結し、市有施設22拠点での回収・売払い（3円/ℓ）を実施し、家庭から排出される廃食用油の資源化を推進。	回収量：5,310ℓ 売払額：15,930円	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
桐生市	38	簡易包装の推進	年度末・年度初めの贈答シーズンに合わせ、市民に対し過剰包装の辞退・抑制を促すため、広報きりゅう3月号に「簡易包装の推進」記事を掲載し、広く周知・啓発を行った。	-	年度末・年度初めの贈答シーズンに合わせ、市民に対し過剰包装の辞退・抑制を促すため、広報きりゅう9月号に「簡易包装の推進」記事を掲載し、広く周知・啓発を行った。	-	令和元年度と同様
桐生市	39	ポイ捨て防止に関する支援	平成27年度に「桐生市ポイ捨て等防止に関する条例が施行されたことから、以来、ポイ捨て防止に関するプレートを作成し必要に応じ配布。平成30年度は計34枚を配布した。	配布数：34枚	平成27年度に「桐生市ポイ捨て等防止に関する条例が施行されたことから、以来、ポイ捨て防止に関するプレートを作成し必要に応じ配布。令和元年度は計36枚を配布した。	配布数：36枚	令和元年度と同様
桐生市	40	ごみ減量等先進地視察研修	ごみ減量・リサイクル及び環境に配慮した取組みの参考とするため、杉並清掃工場、ガスの科学館を30名の参加のもと実施した。	参加者数：30名	大手金属製品メーカーが運営する「容器文化ミュージアム」の視察研修を33名の参加のもと実施した。	参加者数：33名	令和元年度と同様
桐生市	41	リユース食器の啓発	リユース食器利用助成金事業を新設し、イベントでのリユース食器の活用を促進し、ごみの減量化とリユース意識の啓発を図った。2団体に対し助成金の交付を行った。	助成件数：2件 助成金額：15,400円	リユース食器利用助成事業を利用し、各種イベント等でリユース食器の活用を促進し、ごみの減量化とリユース意識の啓発を図った。3団体に対し助成金の交付を行った。	助成件数：3件 助成金額：24,500円	令和元年度と同様
桐生市	42	エコ・クッキング教室	桐生瓦斯㈱が平成17年度から実施するエコ・クッキングの趣旨に賛同し本事業を側面支援することで共催事業としている。毎日摂る食事からごみ減量を意識してもらう研究・啓発活動として計9回実施。	実施回数：9回 参加者数：計223名 一部負担金：30,900円	桐生瓦斯㈱が平成17年度から実施するエコ・クッキングの趣旨に賛同し本事業を側面支援することで共催事業としている。毎日摂る食事からごみ減量を意識してもらう研究・啓発活動として計9回実施。	実施回数：6回 参加者数：計122名 一部負担金：27,900円	令和元年度と同様
桐生市	43	エコイチクッキング	県内高校で唯一の調理科を有する桐生第一高校の特長を生かし、食材を無駄なく使い切る調理を実践することで、将来にわたって継続的に取組んでもらうことを目的に実施した。	参加者数：計37名 一部負担金：3,000円	県内高校で唯一の調理科を有する桐生第一高校の特長を生かし、食材を無駄なく使い切る調理を実践することで、将来にわたって継続的に取組んでもらうことを目的に今回は授業の一環として実施した。	参加者数：計34名 一部負担金：7,000円	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
桐生市	44	電動コンポストの研究	家庭用電動生ごみ処理機3台を購入し、随時モニターを募集しながら、モニタリングによる費用対効果等の研究を実施。3年を目途に最終的な効果検証を行う予定。	購入費：187,920円 モニタリング件数：7件	家庭用電動生ごみ処理機のモニターを随時募集しながら、モニタリングによる費用対効果等の研究を実施。	-	家庭用電動生ごみ処理機のモニターを随時募集しながら、モニタリングによる費用対効果等の研究を実施。
桐生市	45	3Rアドバイザーの設立	桐生市型3Rアドバイザー制度の推進に向け、指導者の育成・人材の確保をするため候補者を3名募集。3R低炭素社会検定の合格のための支援を実施。計6名による全体会議を開催し、活動状況等情報の共有化、各種行事への積極的な参画について合意・決定。	応募数：1名 合格者数：1名	桐生市型3Rアドバイザー制度の推進に向け、指導者の育成・人材の確保をするため候補者を3名募集。3R低炭素社会検定の合格のための支援を実施。アドバイザーによる全体会議を開催し、活動状況等情報の共有化、各種行事への積極的な参画について合意・決定。	応募数：3名 合格者数：4名（自費による合格者1名含む）	令和元年度と同様
桐生市	46	雑がみ分別方法の啓発	雑がみの分別方法を正しく理解してもらうことで、古紙リサイクルの促進を推進するため、啓発用ポスターを42,700部作成した。毎戸配布に必要な部数も併せ、翌年度に7,500部を追加作成。（平成27年度初版の改訂版）	印刷製本費：239,748円	平成30年度の単年度事業（令和元年度は実施せず。）	-	平成30年度の単年度事業（令和2年度は実施せず。）
桐生市	47	使用済み小型家電の回収	市有施設等18ヶ所に回収ボックスを設置し、拠点回収を実施。桐生市が回収品目として定めた12品目を回収。	回収量：21,642kg	市有施設等18ヶ所に回収ボックスを設置し、拠点回収を実施。桐生市が回収品目として定めた12品目を回収。	回収量：1,426kg	令和元年度と同様
桐生市	48	使用済みインクカートリッジの拠点回収	-	-	令和2年度から実施に向け使用済みインクカートリッジ回収ボックスを市有施設19ヶ所に設置。	-	市有施設19ヶ所に設置した使用済みインクカートリッジ回収ボックスでの拠点回収を開始する。
桐生市	49	古布・古着の回収協力	桐生市ボランティア協議会がごみの減量化とリサイクルを目的に市内公民館等に12箇所の回収ボックスを設置し回収。	回収量：48,320kg	桐生市ボランティア協議会がごみの減量化とリサイクルを目的に市内公民館等に12箇所の回収ボックスを設置し回収。	回収量：48,130kg	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
桐生市	50	食べきり運動	食品ロス削減対策の一環として、市職員の啓発や小盛りメニューの導入や持ち帰りの対応、食べ残しを減らすための呼びかけなどに積極的に取り組んでいる店舗を「食べきり協力店」として登録。市広報や市ホームページで市民に周知を図った。	登録店舗数：27店舗	食品ロス削減対策の一環として、市職員の啓発や小盛りメニューの導入や持ち帰りの対応、食べ残しを減らすための呼びかけなどに積極的に取り組んでいる店舗を「食べきり協力店」として登録。市広報や市ホームページで市民に周知を図った。	登録店舗数：25店舗	令和元年度と同様
桐生市	51	使い捨てプラスチック等の使用抑制に係る普及啓発	-	-	・店頭による買い物袋持参運動を実施。 ・プラスチック製買い物袋（レジ袋）の削減の記事を広報掲載した。	実施回数 3回 動員数 37人	令和元年度と同様
桐生市	52	フードバンク支援（フードドライブの実施等）	-	-	フードバンク事業の取組によって食品ロスを削減の推進。今年度も賞味・消費期限が2か月以上残り常温保存が可能で未開封の食品を幹事会等集まりがある機会ごとに持ち寄ってフードバンク桐生へ提供。	支援実績347個 79.8kg	令和元年度と同様
桐生市	53	ごみの組成調査	-	-	環境省が定めるごみ組成調査を実施	-	令和元年度と同様
伊勢崎市	54	リユース食器貸出事業	市内のイベントに参加し営利目的でなく飲食を提供する団体を対象に無料でリユース食器の貸出しを実施。	貸出件数 平成30年度 51件	平成30年度と同様	貸出件数 令和元年度 62件	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
伊勢崎市	55	衣類の集団回収事業	平成28年度より集団回収奨励金の対象品目として衣類の回収を実施。	回収量 平成30年度 3t	平成30年度と同様	回収量 令和元年度 3t	令和元年度と同様
伊勢崎市	56	ごみ分別アプリの配信	スマートフォンやタブレット端末で、ごみの収集日や出し方を確認でき、市から発信した情報を確認できるインフォメーション機能等を備えたごみ分別アプリの普及促進。	登録数 平成30年度 2,999件	平成30年度と同様	登録数 令和元年度 3,505件	令和元年度と同様
伊勢崎市	57	食品ロス削減協力店認定事業	飲食店や宿泊施設を対象に食品ロスの削減に向けた取り組みを実践する店舗を募集し「協力店」として認定し、その取り組みを官と民とが連携し、消費者に対し広く周知することで、ごみの減量化及び再資源化を推進を図った。	登録数 平成30年度 43件	平成30年度と同様	登録数 令和元年度 34件	令和元年度と同様
伊勢崎市	58	生ごみ処理器購入費助成	家庭から発生する生ごみの減量を図るため、生ごみを自家処理する生ごみ処理器の購入費の一部を助成。(本体購入費1/2、上限2万円)	助成件数 平成30年度 62件	平成30年度と同様	助成件数 令和元年度 73件	令和元年度と同様
伊勢崎市	59	枝葉破砕機購入費助成	家庭から発生する枝葉の減量を図るため、自家処理する枝葉破砕機の購入費の一部を助成。(本体購入費1/2、上限2万円)	助成件数 平成30年度 52件	平成30年度と同様	助成件数 令和元年度 49件	令和元年度と同様
伊勢崎市	60	30・10運動(宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動)に係る普及啓発	-	-	食品ロス削減関連(30・10運動含む)のリーフレットを作成	伊勢崎市食品ロス削減協力店や市内公共施設に設置配布	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				令和2年度以降の予定
			平成30年度	成果	令和元年度	成果	
伊勢崎市	61	インクカートリッジ回収事業	-	-	-	-	市内公共施設23箇所に専用回収ボックスを設置し、ごみの減量及び再資源化の推進を図る
伊勢崎市	62	小型充電式電池回収事業	-	-	-	-	市内公共施設23箇所に専用回収ボックスを設置し、ごみの減量及び再資源化の推進を図る
伊勢崎市	63	小型電子機器等回収促進連携・協力事業	-	-	-	-	国の認定を受けた事業者とパソコン等の電子機器の回収促進に関する連携・協力の協定を締結させ、宅配便による自宅回収を開始し、ごみの減量及び再資源化の推進を図る
太田市	64	資源回収に対する支援	資源ごみ回収運動に協力する市内の団体が資源ごみを地域で共同収集し、売却する事業に対し報奨金を交付することにより、資源ごみの再生利用を促進する	回収量 H30年度 3,369 t	資源ごみ回収運動に協力する市内の団体が資源ごみを地域で共同収集し、売却する事業に対し報奨金を交付することにより、資源ごみの再生利用を促進する	回収量 R1年度 3,144 t	令和元年度と同様
太田市	65	生ごみ処理槽等設置助成金制度	家庭厨芥類の自家処理を推進しごみの減量化を図るため、生ごみ処理槽、生ごみ処理容器及び生ごみ処理機の導入について、その一部を助成する。	助成台数 H30年度 93台	家庭厨芥類の自家処理を推進しごみの減量化を図るため、生ごみ処理槽、生ごみ処理容器及び生ごみ処理機の導入について、その一部を助成する。	助成台数 R1年度 87台	令和元年度と同様
太田市	66	廃食用油の回収	家庭ごみの減量と資源のリサイクルを推進するため、使用済みや未使用で消味期限切れなどの廃食用油を回収する。(収集拠点：清掃センター、各行政センター計16箇所)	回収量 H30年度 12,078kg	家庭ごみの減量と資源のリサイクルを推進するため、使用済みや未使用で消味期限切れなどの廃食用油を回収する。(収集拠点：清掃センター、各行政センター計15箇所)	回収量 R1年度 13,590kg	継続

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
太田市	67	使用済小型家電の回収	市庁舎ほか19箇所に収集ボックスを設置し拠点回収した。	回収量 H30年度 3953.43kg	市庁舎ほか18箇所に収集ボックスを設置し拠点回収した。	回収量 R1年度 5013.17kg	継続
太田市	68	マイバックキャンペーンの実施	身近なごみの減量化施策として買い物の時はマイバッグを持って、レジ袋削減を目的としたマイバッグキャンペーンを実施	H30年度の家庭ごみの排出量の1人1日あたり、6.74gの増加となっていました。	—	—	—
太田市	69	都市鉱山からつくるみんなのメダルプロジェクト	清掃事業課の窓口に、専用の回収ボックスを設置し携帯電話、スマートフォン、PHSの回収を行った	回収量：約10kg	—	—	—
太田市	70	特に分かりづらい「ごみの分け方・出し方」一覧表の配付	「家庭ごみの分け方と出し方」を基本とし、特に分かりづらいごみの問い合わせの多いごみについて、一覧表を作成し全戸配付した	—	「家庭ごみの分け方と出し方」を基本とし、特に分かりづらいごみの問い合わせの多いごみについて、一覧表を作成し全戸配付した	—	令和元年度と同様
太田市	71	ごみ分別アプリの導入	—	—	手持ちのスマートフォンで、市のホームページからスマートフォン上で、ごみの分別方法を調べたり、ごみの収集日をお知らせしてくれる機能もある。また、紙で配布していたリーフレットの内容も電子データとして確認することができる。 【新規事業】R1.7.1～	900人	令和元年度と同様
太田市	72	セキュリティーリサイクル事業	—	—	市の公共施設から発生する個人情報を含む公文書の廃棄処理については、清掃センターで焼却処理をしていたが、ごみの減量化と循環型社会の推進のため、溶解処理をする事により機密性を保持しながら、紙製品への再資源化を図る。 【新規事業】R1.6.1～	24,660kg	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
沼田市	73	○古着・古布の 集団回収  ○古着・古布の ステーション回 収	○有価物集団回収において回収 を実施。  ○資源日に各ステーションにお いて回収を実施。	14.4t	○有価物集団回収において回収 を実施。  ○資源日に各ステーションにお いて回収を実施。	13.8t	令和元年度と同様
沼田市	74	蛍光管等のス テーション回収	資源日に各ステーションにおい て蛍光管等の回収を実施	4.3t	資源日に各ステーションにおい て蛍光管等の回収を実施	4.1t	令和元年度と同様
沼田市	75	使用済小型家電 の回収	市庁舎等に回収ボックスを設置 し回収、及びピックアップによ り回収実施	51,780kg	市庁舎等に回収ボックスを設置 し回収、及びピックアップによ り回収実施	54.1t	令和元年度と同様
沼田市	76	有価物集団回収 奨励事業	有価物集団回収を実施した登録 団体に対し、その実績に応じて 奨励金を交付し、ごみの減量化 と再資源化を推進した。	543t	有価物集団回収を実施した登録 団体に対し、その実績に応じて 奨励金を交付し、ごみの減量化 と再資源化を推進した。	517t	令和元年度と同様
沼田市	77	ごみの組成調査	-	-	複数のステーションに排出され た不燃ごみを、年に一度組成調 査を実施。	-	令和元年度と同様
館林市	78	リユース品提供 事業	ごみとして出された粗大ごみ等 の中から、まだ利用できるも の、修理をすれば使えるもの等 を市民へ提供することで、ごみ の減量化、再利用の意識を持っ てもらう。	年2回（イベント） 53点 （春28点、秋25 点）	平成30年度と同様	開催回数 1回 提供点数 26点	令和3年度からリユース品の提 供や3Rの普及啓発のための拠 点を設けて実施していく。
館林市	79	不用食器の回収	家庭にある不用食器をイベント 時に回収し、海外向けリユース 品として活用するもの。	平成30年度 回収実績 500kg	平成30年度と同様	回収量 81kg	今後はイベント回収だけでな く、公民館等における拠点回収 の実施を検討していく。

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
館林市	80	ごみ減量化器具購入費助成金	家庭のごみ減量を目的として、ごみ減量化器具の購入に対する助成を実施。(生ごみ処理槽3,000円、生ごみ処理容器1,000円、生ごみ処理機1/2※上限20,000円)	平成30年度助成実績 生ごみ処理槽：2件 生ごみ処理容器：5件 生ごみ処理機：8件	平成30年度と同様	生ごみ処理槽 12件 生ごみ処理容器 2件 生ごみ処理機 5件	令和元年度と同様
館林市	81	再生資源集団回収事業助成金	資源の再生利用の推進とごみ減量を目的として、資源物を回収した団体に6円/kgの助成を実施。	平成30年度回収実績 1,256,325kg	平成30年度と同様	回収量 1,130,648kg	令和元年度と同様
館林市	82	廃蛍光管の拠点回収	家庭から排出された廃蛍光管を電気店やホームセンター、公共施設の市内39か所で拠点回収を実施。	平成30年度回収実績 7,538kg	平成30年度と同様	回収量 5,289kg	令和元年度と同様
館林市	83	出前講座の実施	市のごみの現状と3R・食品ロスの削減について伝える。	平成30年度 20団体 1189人	平成30年度と同様	団体数 23団体 受講者数 1,162名	令和元年度と同様
館林市	84	食品ロス削減推進に関する庁内連絡会議の開催	食品ロス削減推進に関する庁内連絡会議の開催	平成30年度 1回	平成30年度と同様	開催回数 0回	プラスチックごみの削減に関する庁内推進体制も必要であるため、組織のあり方を検討する。
館林市	85	エコ料理教室のコーディネート	エコ料理教室のコーディネート	平成30年度 1回 30人	平成30年度と同様	開催回数 1回 参加者数 8名	令和元年度と同様
館林市	86	30・10運動推進	30・10運動推進 ・市内飲食店にポスターやコースターを配布 ・庁内放送や電子掲示板を職員向けに周知	平成30年度 11店舗	平成30年度と同様	配布店舗数 50店	令和元年度と同様
館林市	87	ぼんちゃんの食べきり協力店認定事業(予定)	—	—	—	—	令和2年度に運用開始する。

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度	成果	令和元年度	成果	令和2年度以降の予定
館林市	88	ドギーバック (外食時の食べ残しの持ち帰り容器) 又は食べ残しの持ち帰りの普及啓発	—	—	飲食店等に、30・10運動啓発ポスター、コースターを配布し、掲示を依頼する。	配布店数 50店	令和元年度と同様
館林市	89	小学生を対象にした食べきり普及教室の実施	—	—	施設見学の際の講座で普及啓発を行う。	学校数 11校 生徒数 656名	小学生を対象にした食べきり普及教室の実施
館林市	90	マイボトル運動の普及啓発	—	—	3 R 普及啓発紙 (エコシティごみゼロ版)、出前講座、ケーブルテレビでプラスチックの使用抑制の普及啓発を行う。	発行回数 5回 開催回数 23回 撮影回数 4回	民間事業者と連携して公共施設に給水スポットを設置する。
館林市	91	使い捨てプラスチック等の使用抑制に係る普及啓発	—	—	3 R 普及啓発紙 (エコシティごみゼロ版) や出前講座でプラスチックの使用抑制の普及啓発を行う。	発行回数 5回 開催回数 23回 撮影回数 4回	プラスチックごみ削減のための行動指針 (プラごみ・ゼロアクション) を策定する。
館林市	92	フードバンク支援 (フードドライブの実施等)	—	—	NPO団体と連携してイベント回収を行う。また、3 R 普及啓発紙や広報紙で特集を組む。	開催回数 1回 特集回数 1回	3 R 普及啓発紙 (エコシティごみゼロ版) や出前講座で市内にあるフードバンクの活動を紹介し、フードドライブを推進する。

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
館林市	93	ごみの組成調査	—	—	ごみ処理施設を管理する館林衛生施設組合で実施する。	調査回数 4回 (四半期に1回)	令和元年度と同様
渋川市	94	廃食用油の拠点回収	家庭から排出される廃食用油を市内18箇所で開催回収を実施	H30回収実績 7,721 k g	家庭から排出される廃食用油を市内18箇所で開催回収を実施	R1回収実績 8,100 k g	令和元年度と同様
渋川市	95	廃蛍光管の拠点回収	家庭から排出される廃蛍光管（割れていないもの）を市内16箇所で開催回収を実施	H30回収実績 2,000 k g	家庭から排出される廃蛍光管（割れていないもの）を市内16箇所で開催回収を実施	R1回収実績 2,000 k g	令和元年度と同様
渋川市	96	枝葉破砕機購入費補助	家庭から排出される枝木の減量化と資源化を図るため、枝葉破砕機の購入に対し助成を実施（購入費の1/2：上限額1万円）	H30補助件数実績 21件	家庭から排出される枝木の減量化と資源化を図るため、枝葉破砕機の購入に対し助成を実施（購入費の1/2：上限額1万円）	R1補助件数実績 22件	令和元年度と同様
渋川市	97	生ごみ処理機等購入費補助	家庭から排出される生ごみの減量化と資源化を図るため、生ごみ処理機等の購入に対し助成を実施（購入費の1/2：上限額コンポスト=3千円、EM菌容器=2千円、電動式=3万円）	H30補助件数実績 コンポスト：17件 EM菌：0件 電動式：9件	家庭から排出される生ごみの減量化と資源化を図るため、生ごみ処理機等の購入に対し助成を実施（購入費の1/2：上限額コンポスト=3千円、EM菌容器=2千円、電動式=3万円）	R1補助件数実績 コンポスト：26件 EM菌：0件 電動式：10件	令和元年度と同様
渋川市	98	資源ごみ集団回収に対する報奨金	ごみの減量化、リサイクル率の向上を図るため、回収量に応じ回収実施団体へ報奨金を支払う（1kgあたり8円）	H30回収実績 2,465 t	ごみの減量化、リサイクル率の向上を図るため、回収量に応じ回収実施団体へ報奨金を支払う（1kgあたり8円）	R1回収実績 2,122 t	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
渋川市	99	使用済み小型家電製品の回収	ごみの減量化、リサイクル率の向上を図るため、家庭から排出される使用済み小型家電製品を市内7箇所にて拠点回収を実施、併せて一部地域で粗大ごみからのピックアップ回収も実施	H30回収実績 41,530kg	ごみの減量化、リサイクル率の向上を図るため、家庭から排出される使用済み小型家電製品を市内7箇所にて拠点回収を実施	R1回収実績 42,000kg	令和元年度と同様
渋川市	100	しぶかわ環境まつり	(1)啓発コーナー、(2)1R：発生抑制コーナー、(3)2R：再利用コーナー、(4)3R：再資源化コーナー等を設置し、3Rの啓発を行った。	H30来場者実績 約3,700人	(1)啓発コーナー、(2)1R：発生抑制コーナー、(3)2R：再利用コーナー、(4)3R：再資源化コーナー等を設置し、3Rの啓発を行った。	R1来場者実績 約3,300人	新型コロナウイルス感染症対策のため内容を変更し、資源のリサイクルを目的とした牛乳パック及び処理困難物の回収コーナーに限定して開催（令和3年度は開催内容未定）
渋川市	101	出前講座の実施	自治会等の団体を対象に、市のごみの現状と3Rについての講座を実施	H30実績 3団体 135人	自治会等の団体を対象に、市のごみの現状と3Rについての講座を実施	H30実績 2団体 112人	講座内容を見直し、食品ロスの削減についての内容を追加
渋川市	102	渋川市オリジナルエコバッグの作成	-	-	-	-	「プラスチックごみの削減」と、新型コロナウイルス感染症対策として「新しい生活様式の啓発」という2つの目的をコラボしたオリジナルエコバッグを作成し、市内各世帯へ配布（令和2年度のみの実施事業）
藤岡市	103	リサイクルプラザでのリユース	清掃センターに直接搬入された古着や家具などのリユースを行う。	環境意識の向上	清掃センターに直接搬入された古着や家具などのリユースを行う。	環境意識の向上	令和元年度と同様
藤岡市	104	使用済み小型家電製品の回収	不燃ごみの収集及び直接搬入の中から回収する。	H30回収実績 87.090t	不燃ごみの収集及び直接搬入の中から回収する。	H31回収実績 178.06t	令和元年度と同様
藤岡市	105	古紙の行政回収、拠点回収	新聞紙、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙パックに分別し、月2回ごみ収集所にて回収、及び清掃センターにて随時受入を行う。	H30回収実績 712.370t	新聞紙、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙パックに分別し、月2回ごみ収集所にて回収、及び清掃センターにて随時受入を行う。	H31回収実績 686.41t	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
藤岡市	106	廃食用油回収	家庭から排出される廃食用油について、収集所にて回収、及び清掃センターにて随時受入を行う。	H30回収実績 3,140kg	家庭から排出される廃食用油について、収集所にて回収、及び清掃センターにて随時受入を行う。	H31回収実績 3,510kg	令和元年度と同様
藤岡市	107	剪定枝粉碎機の貸出し	可燃ごみとして排出される枝木類の減量化を図るため、剪定枝粉碎機の貸出を行う。	H30回収実績 145件	可燃ごみとして排出される枝木類の減量化を図るため、剪定枝粉碎機の貸出を行う。	H31回収実績 73件	令和元年度と同様
藤岡市	108	資源集団回収事業	ごみ減量とリサイクル推進のため、資源ごみ集団回収をした団体に対し、補助金を交付する。	H30回収実績 1,378.462kg	ごみ減量とリサイクル推進のため、資源ごみ集団回収をした団体に対し、補助金を交付する。	H31回収実績 1,315.25 t	令和元年度と同様
藤岡市	109	廃タイヤ・廃バッテリーの有料回収	年1回廃タイヤ・廃バッテリーの受入を行い、業者に有料で引き取ってもらっている。	清掃センターで扱っていない品目を回収する場を設けることで、不法投棄や野焼きを防止する。	年1回廃タイヤ・廃バッテリーの受入を行い、業者に有料で引き取ってもらっている。	清掃センターで扱っていない品目を回収する場を設けることで、不法投棄や野焼きを防止する。	令和元年度と同様
藤岡市	110	小学生を対象にした食べきり普及教室の実施	-	-	給食時学校訪問の実施	喫食率91.0% (令和元年度)	令和元年度と同様
藤岡市	111	ごみの組成調査	-	-	平成2年2月1日衛環22号に基づき年4回実施	-	令和元年度と同様
富岡市	112	使用済み小型家電製品の回収	不燃ごみの収集及び直接搬入の中からピックアップ方式により、回収する。	H30年度回収量 73,420 kg	平成30年度と同様	R元年度回収量 85,400 kg	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
			成果		成果		
富岡市	113	自走式剪定枝粉碎機(チップパー)の貸出し	可燃ごみとして排出される枝木類の減量化を図るため、剪定枝粉碎機の貸出を開始した。	H30年度 貸出件数 116 件	平成30年度と同様	R元年度 貸出件数135件	令和元年度と同様
富岡市	114	自走式刈払機(ハンマーナイフ)の貸出し	耕作放棄地など雑草が繁茂する土地の適正管理を図り周辺環境の悪化を防止する目的で貸し出しを開始した。	H30年度 貸出件数 221 件	平成30年度と同様	R元年度 貸出件数236件	令和元年度と同様
富岡市	115	生ごみ減量化器具(コンポスト)の無償貸与	生ごみ減量化器具(コンポスト)を無償で貸与し、各家庭の生ごみの減量を促進する。	H30年度 貸与台数 64 台	平成30年度と同様	R元年度 貸与台数81台	令和元年度と同様
富岡市	116	ぼかし作り講習会の実施	生ごみを、たい肥として自家処理するコンポスト使用時の匂いや虫の発生を抑制し、発酵を促進させる「ぼかし」の作り方講習会(無料)を実施した。	H30年度 講習会回数 9 回 参加者人数 66 人	平成30年度と同様	R元年度 講習会回数9 回 参加者人数80人	令和元年度と同様
富岡市	117	家庭用生ごみ処理機器購入費補助	生ごみの減量化や環境問題に対する意識の向上を図るため、生ごみ処理機器を購入した市民に対して購入額の1/2(上限15,000円)を補助した。	H30年度 申請件数 1 件	平成30年度と同様	R元年度 申請件数9件	令和元年度と同様
富岡市	118	有価物集団回収奨励事業	有価物集団回収を実施した登録団体に対し、その実績に応じて奨励金を交付し、ごみの減量化と再資源化を推進した。	H30年度 回収実績 1,241,278 kg	平成30年度と同様	R元年度 回収実績 1,179,595 kg	令和元年度と同様
富岡市	119	ゴミだしアプリの運用開始	市内各地域のごみ出し日とごみの種類をスマートフォンやタブレットで確認できる5374アプリ富岡版の運用を開始した。 ※H30年11月運用開始	-	平成30年度と同様	-	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度	成果	令和元年度	成果	令和2年度以降の予定
富岡市	120	廃食用油回収	家庭から排出される廃食用油を、不燃性資源ごみの日に集積所で回収を行っている。	H30年度 回収量 8,064 kg	平成30年度と同様	R元年度 回収量8,376kg	令和元年度と同様
富岡市	121	ごみの組成調査	-	-	可燃ごみを6項目に分け割合の調査を行っている。	年4回実施	令和元年度と同様
安中市	122	古紙の行政回収、拠点回収	新聞紙、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙パックに分別し、月1回ごみステーションにて回収、及び碓氷川クリーンセンターにて随時受入を行う。	回収実績 30年度 343,130 kg	平成30年度と同様	回収実績 R1年度 370,490 kg	令和元年度と同様
安中市	123	使用済小型家電の回収	市役所等市内6箇所に回収ボックスを設置し、回収を行う。	回収実績 30年度 37,245 kg	平成30年度と同様	回収実績 R1年度 50,150 kg	令和元年度と同様
安中市	124	古着・古布の有価物集団回収	有価物集団回収にて回収を行う。	回収実績 30年度 9,955 kg	平成30年度と同様	回収実績 R1年度 9,760 kg	令和元年度と同様
安中市	125	古着・古布の行政回収、拠点回収	古紙行政回収と同じ日に、ごみステーションにて回収、及び碓氷川クリーンセンターにて随時受入を行う。	回収実績 30年度 37,840 kg	平成30年度と同様	回収実績 R1年度 62,760 kg	令和元年度と同様
安中市	126	廃食用油拠点回収	家庭から排出される廃食用油について、市役所、支所、クリーンセンターの3箇所で拠点回収。	回収実績 30年度 1,440 kg	平成30年度と同様	回収実績 R1年度 2,010 kg	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
みどり市	127	集団回収奨励金	ごみ減量とリサイクル推進のため、資源ごみ集団回収を積極的に回収した団体に対して、引取業者の引取金額に応じて奨励金を交付。 古紙 6円/kg、缶類 5円/kg、ビン類 2円/本、繊維類 5円/kg	H30回収実績 790 t	平成30年度と同様	773t	令和元年度と同様
みどり市	128	生ごみ減量化対策補助金	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再利用の促進を図るため、生ごみ処理機等の購入金額の1/2を補助。	H30交付実績 5件	平成30年度と同様	8件	令和元年度と同様
みどり市	129	廃食用油の回収	家庭等から出る廃食用油を市内4カ所で拠点回収を行っている。(H27.10月から3カ所に変更)	H30回収実績 4,015 <sup>kg</sup>	家庭から出る廃食用油を市内3カ所で拠点回収を行っている。	3,395 <sup>kg</sup>	令和元年度と同様
みどり市	130	使用済み小型家電の回収	市庁舎、公民館6カ所に回収ボックスを設置し、小型家電を回収。	H30回収実績 326.9kg (ボックス回収のみ)	平成30年度と同様	378.2kg	平成30年度の回収と合わせて令和2年7月1日から宅配回収を開始。
みどり市	131	使用済インクカートリッジの回収	一般家庭からでる、インクカートリッジを市内4カ所で拠点回収を行っている。	H30回収実績 10kg	平成30年度と同様	36kg	令和元年度と同様
みどり市	132	古着・古布回収	市内3カ所に回収ボックスを設置して回収を行い、資源回収業者によって、海外にリユースされる。	H30回収実績 17.2 t	平成30年度と同様	23.5 t	令和元年度と同様
みどり市	133	ごみの組成調査	-	-	桐生市清掃センターが年4回実施	-	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
榛東村	134	資源ごみストックハウスの設置	毎週土日に資源ごみ（11品目）の拠点回収を行っている。	平成30年度の実績として合計89 tの回収実績があった。	平成30年度と同様	令和元年度の実績として合計84 tの回収実績があった。	令和元年度と同様
榛東村	135	使用済み電化製品の回収	小型家電等のイベント回収を毎年実施している。また、平成26年度から村内5箇所回収ボックスを設置したほか、上記資源ごみストックハウスにおいても小型家電の回収を行っている。	平成30年度、回収実績4.5t（上記89 tを含む）。	中国の輸入規制の影響を受け、業者との取引解消。令和元年度においては事業を実施せず。	なし。	新規回収業者と契約し、村内5箇所に回収ボックスを設置のほか、資源ごみストックハウスにおいても一部電化製品の回収を行う。
榛東村	136	資源ごみ回収団体報奨金の交付	集団回収を行う団体に回収回数・回収量に応じて報奨金を交付する。	平成30年度、回収実績151,859kg。	平成30年度と同様	令和元年度、回収実績143,864kg。	令和元年度と同様
榛東村	137	エコフェスタ（環境祭）の実施	住民の環境への意識の向上や3Rの推進を図るため、毎年1回開催し啓発活動等を行っている。	来場者数約500人	平成30年度と同様	来場者数約500人	令和元年度と同様
榛東村	138	廃タイヤ・廃バッテリーの有料回収。	上記エコフェスタ（環境祭）で廃タイヤ・廃バッテリーのイベント回収（有料）を行っている。	利用者多数	平成30年度と同様	利用者多数	令和元年度と同様
榛東村	139	古着・古布の回収	上記エコフェスタおよびストックハウスで古着・古布の無料回収を行っている。	平成30年度、回収実績3,340kg。	平成30年度と同様	令和元年度、回収実績3,340kg。	令和元年度と同様
榛東村	140	生ごみ処理容器購入費補助	家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、1世帯につき2基まで生ごみ処理容器の購入費を補助する。（上限1基あたり3,000円）	平成30年度、補助件数9件	平成30年度と同様	令和元年度、補助件数3件	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
吉岡町	141	廃タイヤ・バッテリー及び使用済み小型家電の回収	役場駐車場を拠点回収会場とし、廃タイヤ・バッテリー及び小型家電の回収を行った。(年1回)	タイヤ 469本 バッテリー 52個 2,090Kg	平成30年度と同様	タイヤ 355本 バッテリー 42個 小型家電 2,080Kg	令和元年度と同様
吉岡町	142	資源ごみ集団回収に対する補助	自治会、子供会等が実施する集団回収に対して、回収品目ごとの単価により補助金を交付	382,660kg	平成30年度と同様	370,705Kg	令和元年度と同様
上野村	143	資源ごみ(古紙類)の回収	従来可燃ゴミで処理していた古紙類を資源ごみとして回収	住民の意識向上につながっている	平成30年度と同様	27,420kg	令和元年度と同様
神流町	144	廃タイヤ、廃バッテリー、消火器の一部有料回収	不法投棄対策の一環として町内家庭の廃タイヤ、廃バッテリー、消火器の一部有料回収を実施した。タイヤの金属部分とバッテリーについては有価物として売却した。	実績：廃タイヤ324本、タイヤホイール209本、バッテリー6個、消火器50本	不法投棄対策の一環として町内家庭の廃タイヤ、廃バッテリー、消火器の一部有料回収を実施した。タイヤの金属部分とバッテリーについては有価物として売却した。	実績：廃タイヤ81本、タイヤホイール11本、バッテリー3個、消火器34本	実施予定なし
下仁田町	145	有価物集団回収に対する補助制度	ごみの減量化と資源のリサイクルを図るため、有価物を集団で回収した団体に5円/kgを補助する。	24団体が実施 紙類88,230kg 布類2,110kg ビン類406本 缶類1,090kg を回収	ごみの減量化と資源のリサイクルを図るため、有価物を集団で回収した団体に5円/kgを補助する。	18団体が実施 紙類66,340kg 布類2,020kg ビン類413本 缶類3,790kg を回収	令和元年度と同様
下仁田町	146	家庭用生ごみ処理機購入に対する補助制度	生ごみの減量化を理解していただき、自家処理を推進していただける方に購入金額の1/2を補助する。(25,000円が限度額)	2件補助を実施	生ごみの減量化を理解していただき、自家処理を推進していただける方に購入金額の1/2を補助する。(25,000円が限度額)	2件補助を実施	令和元年度と同様
下仁田町	147	ごみ収納箱の設置に対する補助制度	自治会等が集団回収用のごみ収納箱を設置する際、経費の1/2を補助する。(50,000円が限度額)	収納箱5基 カラス除けネット6か所に補助を実施	自治会等が集団回収用のごみ収納箱を設置する際、経費の1/2を補助する。(50,000円が限度額)	収納箱2基 カラス除けネット14か所に補助を実施	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度	成果	令和元年度	成果	令和2年度以降の予定
下仁田町	148	30・10運動（宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動）に係る普及啓発	-	-	役場関係機関の宴席での事業内容の周知を実施	持ち帰り等も含め食べ残しゼロを実施できた	令和元年度と同様
南牧村	149	生ごみ処理機補助金	生ごみ処理機購入金額の1/2を補助（50,000円が限度額）	-	-	-	令和元年度で廃止
南牧村	150	有価物集団回収補助金	有価物集団回収補助金8円/kg補助0	計31,759kg回収	平成30年度と同様	令和元年度33,347kg	令和元年度と同様
甘楽町	151	古着の回収	衣類は通常可燃ごみとして回収しているが、年1回古着の回収日を設けてリユースを目的として回収している。	H30は9.0tの回収実績があった。	衣類は通常可燃ごみとして回収しているが、年1回古着の回収日を設けてリユースを目的として回収している。	R元年度は11tの回収実績があった。	R2年度はコロナの影響のため、マレーシアなどの東南アジア諸国での引取が出来なかったため、実施できなかった。今後も、コロナの影響による。
中之条町	152	古着古布の回収	吾妻東部衛生センターにおいて直接搬入場合に限り、古着、古布を拠点回収している。	H30年度回収実績4.13t	平成30年度と同様	R1年度回収実績4.31t	令和元年度と同様
中之条町	153	資源集団回収奨励金	集団回収を実施した団体に対し、回収量に応じ奨励金を交付（5円/kg） 対象：新聞・雑誌・ダンボール 下限5千円上限2万円	H30年度回収実績106.6t	平成30年度と同様	R1年度回収実績93.0t	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
中之条町	154	生ゴミ処理機等購入補助金	生ゴミ処理機等の購入費の1/2を補助 (上限2万円)	H30年度実績 コンボ <sup>®</sup> 4件	平成30年度と同様	R1年度実績 生ゴミ処理機 1件 コンボ <sup>®</sup> 4件	対象機器に枝葉破砕機を追加
中之条町	155	廃食用油の回収	家庭から出る廃食用油を町内2カ所で拠点回収を行っている。 (H30年度以前から実施)	町内の社会福祉法人に提供	平成30年度と同様	町内の社会福祉法人に提供	令和元年度と同様
中之条町	156	使用済インクカートリッジの拠点回収	-	-	一般家庭からでる、インクカートリッジの拠点回収を行っている。	-	令和元年度と同様
中之条町	157	小型充電式電池回収	-	-	小型充電式電池の回収協力自治体に登録し拠点回収を行っている	処理困難物の適正処理の推進	令和元年度と同様
長野原町	158	有価物集団回収奨励	有価物を集団回収した団体に対して奨励金を交付(2円/kg)	回収量 H30年度 62.2t	H30年度と同様	回収量 R元年度 33,042kg	令和元年度と同様
長野原町	159	生ごみ処理機器等購入補助	生ごみ処理機器等の購入者に対して購入費用の一部を補助(購入価格の1,000円を超えた額を補助 上限2万円)	補助件数 H30年度 2件	H30年度と同様	補助件数 R元年度 8件	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
長野原町	160	使用済小型家電イベント回収	文化祭会場でのイベント回収に加え、春季に単独の小型家電回収を実施（年2回）	回収量 H30年度 3.94t	H30年度と同様	回収量 R元年度 2,770kg	新型コロナウイルスの影響により、今年度は1回実施。（11月開催予定）
長野原町	161	使用済インクカートリッジ（拠点）回収	-	-	庁舎内の交流スペースに使用済みインク及びトナーカートリッジの無料回収BOXを設置	回収専用袋3袋程度（量は不明）回収の後、リサイクル業者へ引渡し	令和元年度と同様
嬭恋村	162	ペットボトルの資源化回収	村内のごみステーションで月2回の回収を実施	平成30年度 11,320kg	村内のごみステーションで月2回の回収を実施	平成31年度 12,410kg	令和元年度と同様
嬭恋村	163	家電4品目及び使用済小型家電のリサイクル回収	年1回の定期開催による家電4品目及び使用済小型家電のリサイクル回収	平成30年度 2,470kg 家電4品目 124台	年1回の定期開催による家電4品目及び使用済小型家電のリサイクル回収	小型家電 2,260kg 家電4品目 148台	令和元年度と同様
嬭恋村	164	廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収	年1回の定期開催による廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収	廃タイヤ586本 ホイール231本 他	年1回の定期開催による廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収	廃タイヤ288本 ホイール128本 消火器15本他	令和元年度と同様
嬭恋村	165	生ごみ処理機の購入費助成	嬭恋村環境衛生組合を通じ、可燃ごみとして排出される生ごみの減量化を図るため、コンポスト及び電動式生ごみ処理機の購入補助	平成30年度実績 0件	嬭恋村環境衛生組合を通じ、可燃ごみとして排出される生ごみの減量化を図るため、コンポスト及び電動式生ごみ処理機の購入補助	元年度実績 コンポスト 2件 電動生ごみ処理器 1件	令和元年度と同様
嬭恋村	166	エコバッグ全世帯無料配布	-	-	-	-	プラスチック製レジ袋有料化にあわせ、ごみ減量、CO2削減を目的に、全世帯にエコバッグの無料配布を実施

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度	成果	令和元年度	成果	令和2年度以降の予定
孺恋村	167	使用済インクカートリッジ拠点回収	-	-	-	-	プラスチックごみ減量化施策の一環として、インクカートリッジのリサイクルを行う事業者との提携によりインクカートリッジの拠点回収を開始した。
草津町	168	有価物集団回収奨励事業	集団回収を行う団体に対して4円/kgの奨励金を交付する。	80,820kgの回収実績があった。	平成30年度と同様	75,601kgの回収実績。	令和元年度と同様
草津町	169	事業系ごみの段ボール及び新聞紙の分別回収	可燃ごみとしていた事業所より排出される段ボール及び新聞紙を、資源ごみとして分別するよう協力依頼を行い回収する。	段ボール217,520kg 新聞紙 11,210kg	平成30年度と同様	段ボール229,460kg 新聞紙 3,720kg	令和元年度と同様
草津町	170	羽毛布団の回収	-	-	クリーンセンターに持ち込まれた羽毛布団について他の布団と分別し再生業者に引き渡す。	300kgの回収実績。	令和元年度と同様
草津町	171	小型家電の回収	-	-	クリーンセンターに持ち込まれた小型家電を分別し認定事業者へ引き渡す。	16,720kgの回収実績。	令和元年度と同様
草津町	172	30・10運動（宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動）に係る普及啓発	-	-	30・10運動（宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動）に係る普及啓発	使用済小型家電のうち指定する40品目を有価物集団回収の奨励金の対象として追加した。	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
高山村	173	古着・古布の回収	拠点回収の品目に古着・古布を追加。 集めた古着・古布は、資源回収業者により、リユースされる。	回収実績 平成30年度 0.69 t	拠点回収の品目に古着・古布を追加。 集めた古着・古布は、資源回収業者により、リユースされる。	令和元年度 回収実績 0.76 t	令和元年度と同様
高山村	174	生ゴミ処理機等 購入補助金	生ゴミ処理機 補助率1/2（上限20,000円） コンポスト 補助率1/2（上限3,000円）	平成30年度実績 0件 1件	生ゴミ処理機 補助率1/2（上限20,000円） コンポスト 補助率1/2（上限3,000円）	令和元年度実績 0件 0件	令和2年度末で廃止予定
高山村	175	もったいない推 進活動事業	エコキャップ回収 （アルファジャパンに無償提 供） 廃食廃油回収 （ほほえみ公社に無償提供）	平成30年度実績 535kg 319%	エコキャップ回収 （アルファジャパンに無償提 供） 廃食廃油回収 （ほほえみ公社に無償提供）	令和元年度実績 170kg 406%	令和元年度と同様
東吾妻町	176	古着古布回収	吾妻東部衛生センターにおい て、直接搬入する場合に限り、 古着・古布を拠点回収してい る。	H30回収実績 3.11t	平成30年度と同様	R1回収実績 3.42t	令和元年度と同様
東吾妻町	177	資源集団回収奨 励金	集団回収の実施団体に対し、回 収量に応じ奨励金を交付 下限5,000円・上限15,000円 1団体で年3回を限度	H30回収実績 65.23t	平成30年度と同様	R1回収実績 57.3t	令和元年度と同様
東吾妻町	178	生ゴミ処理機等 設置費補助金	生ゴミ処理機等購入費の1/2を補 助 上限20,000円	H30補助実績 0件	平成30年度と同様	R1補助実績 6件	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
片品村	179	庁舎内及び学校施設から排出される古紙類、ダンボール類の売却	庁舎内及び学校施設より排出される古紙類、ダンボール類を契約した業者に売却している。 (個人情報等が記載される重要書類を除く)	平成29年度と同様	平成30年度と同様。	平成30年度と同様。	令和元年度と同様。
片品村	180	廃食油の回収	村内一部地区のごみ収集棚にドラム缶を設置し、家庭から出る廃食油を回収する。 また、年1回のイベント回収も実施している。	平成29年度と同様	平成30年度と同様。	平成30年度と同様。	ドラム缶を設置しての廃食油回収は令和元年度と同様。 令和2年度のイベント回収はコロナの影響により中止。次年度以降の実施はイベント開催状況により検討。
片品村	181	廃タイヤ・廃バッテリー及びスキー用具の有料回収	年1回廃タイヤ、ホイール、廃バッテリー、スキー用具を村民が会場に持ち込み、業者に有料で引き取ってもらっている。	平成29年度と同様	平成30年度と同様。	平成30年度と同様。	コロナの影響により秋期の実施。内容は例年と同様。次年度以降は通常の内容で実施可能と思われる。
片品村	182	古着のイベント回収	古着等を村内で行われるイベントの場で回収を行う。 (月1回資源回収する計画を進めているため、それが開始されるまでの間実施する。)	平成29年度と同様	平成30年度と同様。	平成30年度と同様。	今年度のイベント回収はコロナの影響により年度中は1回分となった。(例年は2回) 衣類の回収情勢に変動が出たため、一部回収方法に変更が出た。今後も同様の状況になる。
川場村	183	生ごみ処理機購入補助	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再利用の促進を図るため、生ごみ処理機等の購入金額の1/2を補助	H30交付実績 6件	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再利用の促進を図るため、生ごみ処理機等の購入金額の1/2を補助	R1交付実績 1件	令和元年度と同様
川場村	184	古着・古布の回収	年に2回開催される粗大ごみ収集の際に、古着・古布の回収を追加した。	H30回収量 470kg	年に2回開催される粗大ごみ収集の際に、古着・古布の回収を追加した。	R1回収量 520kg	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
川場村	185	廃食油の回収	-	-	家庭から出る廃食油を回収する。	R1回収量 376kg	令和元年度と同様
昭和村	186	使用済み小型家電の回収	資源物保管場において、拠点回収を実施	回収実績 187個	資源物保管場において、拠点回収を実施	回収実績 475 個	令和元年度と同様
昭和村	187	資源集団回収奨励金	家庭から排出される再生利用可能な資源物（紙類、かん、びん、ペットボトル、容器包装プラスチック等）を、村民が集団で回収する事業。回収量に応じて奨励金を交付する。	H30実績 325 t	家庭から排出される再生利用可能な資源物（紙類、かん、びん、ペットボトル、容器包装プラスチック等）を、村民が集団で回収する事業。回収量に応じて奨励金を交付する。	R1実績：341 t	令和元年度と同様
昭和村	188	生ごみ処理機等購入費補助	家庭から排出される生ごみの自家処理を推進し、生ごみの減量化及び生活環境の向上を図るため、生ごみ処理機等を購入し、設置した者に対し補助金を交付する。1世帯につき、2万円を限度に購入費用の2分の1の額を補助。	H30実績 1件	家庭から排出される生ごみの自家処理を推進し、生ごみの減量化及び生活環境の向上を図るため、生ごみ処理機等を購入し、設置した者に対し補助金を交付する。1世帯につき、2万円を限度に購入費用の2分の1の額を補助。	R1実績 3件	令和元年度と同様
みなかみ町	189	資源集団回収奨励金	家庭から排出される再生利用可能な資源物（古紙類、かん、びん、ペットボトル）を、町民が集団で回収する事業。回収量に応じて奨励金を交付する。	搬入 82 t	家庭から排出される再生利用可能な資源物（古紙類、かん、びん、ペットボトル）を、町民が集団で回収する事業。回収量に応じて奨励金を交付する。	搬入 81 t	令和元年度と同様
みなかみ町	190	衣類・古布類の資源化	衣類・古布類を資源回収業者によりリユースしている。	搬出 72 t	衣類・古布類を資源回収業者によりリユースしている。	搬出 61 t	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
みなかみ町	191	使用済み小型家電の回収	粗大ごみ等として町民が直接搬入した中からピックアップ方式により回収。	搬出 60 t	粗大ごみ等として町民が直接搬入した中からピックアップ方式により回収。	搬出 49 t	令和元年度と同様
みなかみ町	192	生ごみの分別収集	家庭から排出される生ごみを分別収集し、町営肥料化施設で肥料化する。	搬入 456 t	家庭から排出される生ごみを分別収集し、町営肥料化施設で肥料化する。	搬入 535 t	令和元年度と同様
みなかみ町	193	ごみ分別アプリ導入	スマートフォン等の携帯端末で、ごみの収集日や分別表を確認できる携帯アプリの運用。	累計DL 883件	スマートフォン等の携帯端末で、ごみの収集日や分別表を確認できる携帯アプリの運用。	累計DL 1129件	令和元年度と同様
みなかみ町	194	ペットボトルの回収	ステーション及び直接搬入により回収	搬出 46 t	ステーション及び直接搬入により回収	搬出 26 t	令和元年度と同様
みなかみ町	195	廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収	年2回の廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収を実施した	回収実績 42,230kg	年2回の廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収を実施した	回収実績 44,120kg	令和元年度と同様
みなかみ町	196	廃蛍光灯・廃乾電池の回収	家庭から排出される廃蛍光灯・廃乾電池のステーション回収及び直接搬入により回収	回収実績 11,150kg	家庭から排出される廃蛍光灯・廃乾電池のステーション回収及び直接搬入により回収	回収実績 12,880kg	令和元年度と同様
玉村町	197	古着・古布の回収	子ども会等で行う集団回収に古着・古布類を回収品目に加え、粗大ごみとして直接搬入された古着類を、ピックアップにて回収し資源化。平成27年度から拠点回収を実施。平成28年度現在で、公共施設7カ所、保育所5カ所。平成29年度から収集分別区分を変更しゴミステーションからも回収	H30回収実績 42,400kg	平成30年度と同様	R元回収実績 50,370kg	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
玉村町	198	使用済み小型家電の回収	不燃ごみの収集及び粗大ごみとして直接搬入された中から、ピックアップにて回収を実施。また、イベントでの回収も実施。	H30回収実績 83,145kg	平成30年度と同様	R元回収実績 91,134kg	令和元年度と同様
玉村町	199	木質系ごみの資源化	剪定枝や粗大ごみとして直接搬入された家具類を焼却処分していたが、燃料チップにする中間処理業者に資源化委託。	H30委託実績 529,520kg	平成30年度と同様	R元回収実績 591,040kg	令和元年度と同様
玉村町	200	ガラス・陶磁器類の資源化	家庭から排出されるガラス・陶磁器類は不燃残渣として埋立処分していたが、土木資材等にする中間処理業者に資源化委託。	H30委託実績 86,110kg	平成30年度と同様	R元回収実績 83,400kg	令和元年度と同様
玉村町	201	焼却残渣の資源化	焼却施設で発生する焼却灰（主灰）をコンクリート原料に再生する資源化施設へ委託	H30委託実績 51,010kg	平成30年度と同様	R元回収実績 53,490kg	令和元年度と同様
玉村町	202	ごみ分別アプリ導入	スマートフォン等の携帯端末で、ごみの収集日や分別表を確認できる携帯アプリの運用。	平成31年1月より運用を開始した	平成30年度と同様	R元回収実績 1,180人が登録	令和元年度と同様
玉村町	203	廃タイヤ・廃バッテリーの有料回収	年1回廃タイヤ・廃バッテリー等の受入を行い、業者に有料で引き取ってもらっている。	H30委託実績 156件	平成30年度と同様	R元回収実績 185件	令和元年度と同様
玉村町	204	生ごみ処理機購入補助	家庭内で発生した生ごみの自家処理及び減量化を図るため、生ごみ処理機器を購入した町民に対して購入額の1/2を補助（上限25,000円）。	H30委託実績 6件	平成30年度と同様	R元回収実績 9件	令和元年度と同様
板倉町	205	ペットボトルの回収	ごみステーションにて収集	H30年度実績 21.49t	平成30年度と同様	R1年度実績 33.51t	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度	成果	令和元年度	成果	令和2年度以降の予定
板倉町	206	容器包装プラスチックの回収	ごみステーションにて収集	H30年度実績 77.43 t	平成30年度と同様	R1年度実績 82.39 t	令和元年度と同様
板倉町	207	廃食用油の回収	各公民館（町内4箇所）において回収・収集	H30年度実績 1.30 t	平成30年度と同様	R1年度実績 1.88 t	令和元年度と同様
板倉町	208	廃蛍光管の回収	各公民館（町内4箇所）において回収・収集	H30年度実績 0.51 t	平成30年度と同様	R1年度実績 0.61 t	令和元年度と同様
板倉町	209	集団回収助成金交付事業	町内において資源ごみを回収する団体へ助成金を交付。	H30年度実績 新聞 80.64 t、雑誌30.43 t、段ボール 32.5 t、牛乳パック 0.22 t、アルミ缶 7.53 t、ビン 0.1 t	平成30年度と同様	R1年度実績 新聞 71.38 t、雑誌24.58 t、段ボール 23.42 t、牛乳パック 0.24 t、アルミ缶 5.52 t、ビン 0.1 t	事業は継続。状況に応じ助成金単価変動あり。
板倉町	210	研修会	ごみ分別や立ち合い指導を担う町生活環境推進員（※町長より委嘱）に対して、ごみ処理やごみ減量につながるような研修会を実施 【内容】町生活環境推進員の役割、ごみ分別方法（区民からの問い合わせに対応できるように）	-	平成30年度と同様	-	令和元年度と同様
板倉町	211	30・10運動（宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動）に係る普及啓発	-	-	生活環境推進員の研修会時に啓発資料を配布	生活環境推進員を通じた普及啓発	生活環境推進員の研修会時に啓発資料を配布

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度	成果	令和元年度	成果	令和2年度以降の予定
板倉町	212	ごみの組成調査	-	-	食品ロス実態調査を実施	食品ロスの状況を把握	実施予定なし
明和町	213	再生資源集団回収事業	資源ごみを集団回収した町内の団体及び町内業者に対し、実績に応じて助成金を交付することにより、資源の再利用を推進しごみの減量化を図る。 (団体7円/kg 業者2円/kg)	H30年度実績 189 t	平成30年度と同様	令和元年度実績 166 t	令和元年度と同様
明和町	214	ごみ減量化器具購入費助成事業	家庭内で発生する生ごみを自家処理するためにごみ減量化器具を購入したのに対し、購入費の一部を助成する。 (購入金額の1/2で上限3万円)	H30年度実績 1件	平成30年度と同様	令和元年度実績 2件	令和元年度と同様
明和町	215	使用済小型家電の収集	資源ごみ収集所(町内3か所)にて、家庭から出た使用済小型家電を分別収集	H30年度実績 28.5 t	平成30年度と同様	令和元年度実績 31.6 t	令和元年度と同様
明和町	216	アルミ・スチール・金属類収集	資源ごみ収集所(町内3か所)及び地区収集所にて、アルミ缶・スチール缶・その他金属類で分別収集	H30年度実績 アルミ缶：13.3 t スチール缶：17.4 t 金属類：31.4 t	平成30年度と同様	令和元年度実績 アルミ缶：14.0 t スチール缶：19.4 t 金属類：33.7 t	令和元年度と同様
明和町	217	古着収集	資源ごみ収集所(町内3か所)にて収集	H30年度実績 55.4 t	平成30年度と同様	令和元年度実績 54.5 t	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
明和町	218	古紙収集	資源ごみ収集所（町内3か所）及び地区収集所にて分別収集	H30年度実績 新聞紙：85.9 t 段ボール：55.7 t 紙パック：2.3 t 雑誌：59.7 t 雑紙：53.5 t	平成30年度と同様	令和元年度実績 新聞紙：87.0 t 段ボール：60.0 t 紙パック：2.2 t 雑誌：66.4 t 雑紙：53.2 t	令和元年度と同様
明和町	219	廃食用油収集	資源ごみ収集所（町内3か所）にて収集	H30年度実績 1,863 L	平成30年度と同様	令和元年度実績 1,860 L	令和元年度と同様
明和町	220	廃携帯電話収集	資源ごみ収集所（町内3か所）にて収集 （携帯電話）	H30年度実績 携帯電話：11kg	平成30年度と同様	令和元年度実績 携帯電話：0 kg	令和元年度と同様
明和町	221	ペットボトル収集	資源ごみ収集所（町内3か所）及び地区収集所にて分別収集 （キャップ、ラベルを外して収集）	H30年度実績：29.5 t	資源ごみ収集所（町内3か所）及び地区収集所にて分別収集 （キャップ、ラベルを外して収集）	令和元年度実績 28.9 t	令和元年度と同様
明和町	222	リターナブルビン分別収集	資源ごみ収集所（町内3か所）及び地区収集所にて分別収集 業者に引き渡して再生	H30年度実績 一升瓶：2,694本 ビール瓶：883本	平成30年度と同様	令和元年度実績 一升瓶：2,958本 ビール瓶：1,163本	令和元年度と同様
明和町	223	瓶等ガラス類分別収集	資源ごみ収集所（町内3か所）及び地区収集所にて分別収集	H30年度実績 茶色：24.7 t 無色：20.7 t 有色：9.0 t	平成30年度と同様	令和元年度実績 茶色：29.8 t 無色：25.6 t 有色：11.3 t	令和元年度と同様
明和町	224	リサイクル啓発事業	廃棄された古着等を裂いて横糸にし、様々な模様を専用の織機で織り込んだ布を裁断加工し、バッグや暖簾などの製品を作成しイベント等で販売	町内のイベント等でPRを行い、リサイクル品の展示、販売を行った。	平成30年度と同様	町内のイベント等でPRを行い、リサイクル品の展示、販売を行った。	令和元年度と同様
千代田町	225	生ごみリサイクル事業（公共施設）	給食センター、東西保育園から排出される食品残渣を、町内民間業者保有の飼料化施設へ処理委託	【H30 実績】 23,475 k g	平成30年度と同様	【R1実績】 18,505 k g	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
千代田町	226	生ごみリサイクル事業（保護者向け）	東西幼稚園及び東西保育園に登園している保護者向けと一般家庭の食品残渣を回収し、町内民間業者保有の飼料化施設へ処理委託	【H30実績】 4,705 k g	平成30年度と同様	【R1実績】 3,185 k g	令和元年度と同様
千代田町	227	古着類の回収品目追加	古着に加えて、バッグ・靴・毛布等も回収。	【H30実績】 10,190 k g	平成30年度と同様	【R1実績】 9,840 k g	令和元年度と同様
千代田町	228	エコ教室	幼稚園及び保育園の園児向けに実施。 実際に分別（園内生活で出るプラスチック製容器包装類・紙類・牛乳パックについて）をしたり、紙芝居やクイズ、かるたなど遊びながら学ぶ。	子供たちが自ら分別ができるようになった。	平成30年度と同様	【R1実施回数】 4回	令和元年度と同様
千代田町	229	廃食用油の回収	保健センターを廃止し、回収場所を役場、温水プールの2箇所にした。	【H30実績】 1,305 k g	平成30年度と同様	【R1実施】 1,410 k g	令和元年度と同様
千代田町	230	リサイクル品回収（保護者向け）	幼稚園及び保育園の保護者が登園時にいつでも出せる場として、プラスチック製容器包装類、白色トレイ、牛乳パック、ペットボトル、金属類（缶含む）、紙類を回収。金属類及び紙類の売却代はPTA会費及び保護者会費となる。	【H30実績】 金属類 11,465 g 紙類 2,355 k g	平成30年度と同様	【R1実施】 金属類 9,315 k g 紙類 1,665 k g	令和元年度と同様
千代田町	231	金属、小型家電回収事業	今まで燃えないごみで出されていた金属、小型家電を平成30年7月からごみステーションで回収する。	【H30実績】 20,590 k g	平成30年度と同様	【R1実施】 14,235 k g	令和元年度と同様
千代田町	232	ガラス、陶磁器類回収事業	今まで燃えないごみで出されていたガラス、陶磁器を平成30年7月からごみステーションで回収し民間業者で選別し、路盤材としてリサイクルする。	【H30実績】 10,150 k g	平成30年度と同様	【R1実施】 17,565 k g	令和元年度と同様
千代田町	233	フードバンク支援（フードドライブの実施等）	-	-	家庭で消費しきれない食品をNPO法人に引き渡し、生ごみ等の減量を図る。	【R1実施】 40.38 k g	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度		令和元年度		令和2年度以降の予定
				成果		成果	
千代田町	234	役場庁舎等における古紙のリサイクル	-	-	役場庁舎等から発生する古紙を資源として再生処理。	【R1実績】 16,350kg	令和元年度と同様
大泉町	235	廃食用油の回収事業	役場内環境整備課窓口にて随時（土日預かりも可）回収。	247件の回収実績があった	平成30年度と同様	230件の回収実績があった	令和元年度と同様
大泉町	236	資源ごみ分別収集事業（紙類）	継続的に包装紙やお菓子の紙箱等の排出方法をごみ収集カレンダーに記載した。	可燃ごみの減少につながった	平成30年度と同様	可燃ごみの減少につながった	令和元年度と同様
大泉町	237	古着・古布の回収	古着や古布の回収を町のイベント（環境フェア等）に合わせて実施した。また、役場内環境整備課窓口にて随時（土日祝日を除く）回収。回収された古着等は、主に海外にてリユースされる。	232人、2,205kgの回収実績があった	平成30年度と同様	215人、1760kgの回収実績があった	令和元年度と同様
大泉町	238	使用済み小型家電の回収	町のイベント（環境フェア等）に合わせて実施した。	99人、1,275kgの回収実績があった	平成30年度と同様	134人、1545kgの回収実績があった	令和元年度と同様
大泉町	239	都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト	広報及びホームページを用いて周知した。	233台、26.2kgの回収実績があった	H30年度で事業終了（R1は実施せず。）	-	-
大泉町	240	剪定枝等のリサイクル処理	ごみ収集カレンダーに剪定枝等のリサイクルについて記載した。広報及びホームページを用いて周知した。	465,990kgの回収実績があった。	平成30年度と同様	408,290kgの回収実績があった。	令和元年度と同様
大泉町	241	30・10運動（宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動）に係る普及啓発	-	-	環境整備課窓口にて啓発用の掲示物を設置した	-	令和元年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			平成30年度	成果	令和元年度	成果	令和2年度以降の予定
大泉町	242	フードバンク支援（フードドライブの実施等）	-	-	他課（福祉課）でフードドライブを実施している	-	令和元年度と同様
邑楽町	243	古着・古布の回収	古着・古布を回収。集めた古着・古布は資源回収業者により主に海外でリユースされる。	平成30年度回収実績3,070kg	平成30年度と同様	令和元年度回収実績3,830kg	令和元年度と同様
邑楽町	244	廃食用油の回収	廃食用油を年2回回収	平成30年度回収実績125kg	平成30年度と同様	令和元年度回収実績3,145kg	令和元年度と同様
邑楽町	245	資源ごみ分別収集事業（アルミ缶・スチール缶）	資源ごみとして、飲食用のアルミ缶・スチール缶の回収を実施した	平成30年度回収実績41,440kg	平成30年度と同様	令和元年度回収実績17,960kg	令和元年度と同様
邑楽町	246	資源ごみ分別収集事業（紙類）	包装紙やお菓子の紙箱等の排出方法をごみ収集カレンダーに記載し、紙類の分別拡大を図った。	平成30年度回収実績205,110kg	平成30年度と同様	令和元年度回収実績149,670kg	令和元年度と同様
邑楽町	247	使用済み小型家電の回収推進	使用済み小型家電を回収	平成30年度回収実績6,385kg	平成30年度と同様	令和元年度回収実績7,170kg	令和元年度と同様
邑楽町	248	資源ごみ回収奨励金	資源ごみの回収団体に、ごみのリサイクル・減量化を図るため回収量に応じて1kgあたり8円を交付する。	平成30年度回収実績29,265kg	平成30年度と同様	令和元年度回収実績29,446kg	令和元年度と同様